



▲市をより良くするための提案を行う子ども議員

「かふか21子ども未来会議」の子ども議会が1月26日、市役所内の議場で開催され、市内小学5年生から中学1年生の子ども議員27名と中嶋市長はじめ市幹部職員ら21名が出席し、議員の意見や質問に対して答弁が行われました。  
議員は、昨年6月に任命されて以来、老人ホームや病院、台風の被害が残る信楽を訪れるなど各地で体験学習や市民の聞き取り調査を重ね、市をより良くするための提案をまとめました。  
市の小学生交流を提案した伴谷東小6年生の井上美波さんは「最高の質問ができた。より良い市にするためには、まだまだできていないところもあると知った」と活動を振り返りました。

甲賀市が誇るお茶のおいしさを子どもたちに

「忍者の里こうかて田舎体験」スキルアップ研修会

甲賀市都市農村交流推進協議会が行う事業「忍者の里こうかて田舎体験」において、都市部の子どもたちを受け入れる家庭を対象にした研修会が1月28日、勤労青少年ホームで行われ、17名が参加しました。  
雨天時の体験プログラムの紹介や、地元のことについて理解を深めてもらうと、同協議会が実施したもので、今回参加者は、甲賀の特産品であるお茶について学びました。  
実習では、おいしいお茶の淹れ方を実践したり、緑茶を炒って、ほうじ茶を作ったりしました。  
参加者は、低温で淹れたお茶のおいしさに驚き「甲賀のお茶を誇りに、子どもたちにもっとおいしく飲んでもらいたい」と話していました。



▲体験プログラムとしてほうじ茶作りを学ぶ参加者

市内でフィンランド“旅行”

国際交流サロン



▲初めて使う調理道具「チーズカッター」に挑戦する参加者

気軽に参加できる国際交流の機会として甲賀市国際交流協会が開催しているサロンが1月30日、自主活動センターきずなで開催され、16名が参加しました。  
今回は、フィンランドがテーマ。同国出身のリュトコネン・マリアさんと一緒に代表的な家庭料理のサーモンスープやクレープを作りました。また、スライドを使って風景や生活文化などが紹介されたほか、フィンランド語で自己紹介するなど、フィンランドの文化に親しみました。  
同国で一般的なライ麦パンは、切り分けるのにも苦労するほど固くて驚き、参加者は、食材や調理道具にも興味を持って質問しながら、交流を楽しんでいました。

# 元気なまちかど

牛乳の大切さを学ぶ

土山小学校・食育出前授業



▶バターづくりを体験する児童

食育出前授業が1月22日、土山小学校で開かれ、1年生児童23名が参加しました。  
この授業は雪印メグミルク株式会社の協力により開催されたもので、全国の小学校を回っています。  
授業では、乳製品の元となる乳牛や牛乳に多く含まれるカルシウムについてのお話のほか、生クリームを使ったバターづくりが行われました。  
容器を振って固まらせた生クリームをさらに混ぜると、バターとミルクに分離します。児童は、次第に変化していく様子を何度も確かめながら完成させ、牛乳のおいしさと栄養分が詰まったバターを味わいました。  
講師は、「牛さんに感謝して、給食やお家でおいしく毎日飲んでください」と呼びかけ、児童は、給食で提供される牛乳の大切さを学んでいました。

市内で「こころの劇場」を上演

劇団四季ミュージカル『桃次郎の冒険』



撮影：阿部章仁

▲感動を届ける「こころの劇場」

劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターは、「こころの劇場」として全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクトを行っています。  
市でも1月23日、市内の小学6年生が招待され、ミュージカル『桃次郎の冒険』があいこう市民ホールで上演されました。  
桃山次郎という男の子が、桃太郎の弟桃次郎になって、紙芝居の世界を冒険するというストーリー。桃次郎は、昔話とまるで違った世界で、角があるだけで鬼も人間も同じという大切なことに気づきます。  
迫力のある歌やダンス、心を打つ内容に涙を浮かべる児童もいました。また、一緒に手拍子をしたり歌を歌ったりと、舞台をみんな楽しんでました。

風にのってくるくる回れ

くすり学習館親子ものづくり教室



▲「たねコプター」を一斉に放つ甲南高校生徒と子どもたち

くすり学習館で1月25日、親子ものづくり教室が開催され、甲南高校薬業クラブの生徒8名が、親子に科学工作「たねコプター」作りを指導しました。  
この教室は、簡単な実験を通して植物や化学に興味を持ってもらうと、同校の生徒が講師となって開催しているものです。  
「たねコプター」は、カエデの種をモデルにしたもので、3年生が考案し、課題研究として改良を重ねました。画用紙で作った「たね」を空に飛ばすと、風に乗ってくるくる回りながら落ちてきます。  
生徒は、子どもたちに羽根の形を工夫するようアドバイスをしたり、最後は外で一緒に飛ばしたりして研究の成果を確かめていました。